

ティーンズコーナー

新着図書

毎号新刊2冊をピックアップしてご紹介!

図書館HP「新しくいった本」にて[ティーンズ]の条件で検索するとご覧いただけます。



藪の中

芥川龍之介/著 おく/絵 立東舎 (F/アリ)

検非違使の調書を読むかの如く、人物の証言のみで物語が進んでゆく和風ミステリー譚『藪の中』。その名作を彩るのは、独創的な和の雰囲気と迫力のある作画で人気を集めるイラストレーター・漫画家おく。謎めく不思議な物語と妖しい魅力を発する絵柄が、読み手を平安時代の世界へ惹き込みます。

大人気「乙女の本棚」シリーズは今回で40作目となりました。これを機に未読の作品にも手を伸ばし、シリーズ全制覇に挑戦してみてください。



こまき電子図書館

ティーンズ
配信中



中学生からの絵本のトリセツ

川口かおる/著 岩波書店 (019)

読みやすい作品として多くの子どもに親しまれている絵本。だからといって「子供が読むものだ」「大人が手に取るのは恥ずかしい」と疎遠になっていませんか。本書では成長したからこそ知ってほしい絵本の魅力を紹介しています。

登場する本の多くは小牧市の図書館で読めるので、気になった絵本を手にとってみたり、お気に入りの1冊を探してみたりと、日常に絵本がある生活をぜひ楽しんでみてください。



創造と閃きの
アーティスト特集!

個性あふれる表現の世界

連載コラム

本好きさんになろう!

みなさんは今まで過ごした中で、どれくらい本を読んだか、そして今後、どれくらい本を読めるか考えたことはありませんか?
一日一冊本を読んだ場合、百冊読むなら百日。千冊読むなら約二年九ヶ月。一万冊目を読むときには約二十七年の年月が流れています。世の中には多くの本があります。世の中には多くの本が全ても読むことは残念ながら叶いません。
今日から本を読み始めれば、明日から始めるよりも多くの本に出会えます。いまのうちに様々な本を読んで、自分が興味を持つジャンルやお気に入りの作家さんを探してみてください。好きな本に囲まれた、楽しい読書ライフをたくさん満喫しましょう!

「ティーンズライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです(KT)

次号
(2024年冬号)
12月1日
発行予定です



個性あふれる表現の世界
創造と閃きの
アーティスト特集!

中山みどりのフェルトアートmidofelt

中山みどり/著 日東書院本社 (759.08/ナ)

とにかくすごいです。という気持ちが先に出てしまうくらい、とてもリアルに作られていて、美しくて愛らしいです。まるで生きているようで今にも動き出しそうなフェルトの新しい世界が広がっています。出会わなければ知らない世界ですが、出会うととても感動し、心動かされるフェルトアート本です。まさに極めるということはこういうことなのだと感じさせられる、感動する1冊です。

夜景座生まれ

最果タヒ/著 新潮社 (911.56/サ)

恋愛や孤独をテーマにした詩で共感できると10代にも人気がある作家さんの1人です。共感や読みやすさ、そして魅力的なグラフィックの装丁も掛け合わせ、要素としては最強現代詩とも言える1冊です。「自分の人生の重要な起点を自分自身が一番よく知らない、というのもとても美しい」というあとがきまで、紡がれた言葉の数々を余すところなく体感してほしい、おススメの作家さんです。

MOZUトリックラクガキアート集

MOZU/著 玄光社 (726.5/モ)

ミニチュア作家であり、コマ撮りアニメ作家でもあるMOZUさんのつい触りたくなるトリックアートの作品集です。作品のはじまりは中学2年生の授業中、暇すぎてノートに書いた超リアルな三角定規だそう。ノートに鉛筆で描かれる作品は、ユーモアたっぷり、つい二度見してしまう作品ばかりです。誰もが持っているノートと鉛筆、そしてわくわくする気持ち。この三つを用意して、アートワークを始めましょう!

きりえや偽本図書館 文学パロディ閲覧室

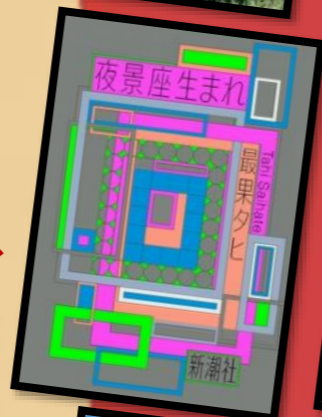
高木亮/著 現代書館 (726.9/タ)

偽本とは、著者が切り絵で制作したパロディブックカバーのことを指します。文豪の名作や馴染み深い童話など、有名な作品の数々がパロディ文学となって登場。声に出すと元の本がすぐ分かるほど原作に似た巧妙なタイトルと、そこから生まれた自由すぎる物語が読み手を偽本の世界へ惹き込みます。さらに帯や付録、図書館だよりと作り込まれたパロディ情報が繰り出される中、元の原作もしっかり紹介しているので読み応え抜群です。

私が作って私がときめく自家発電ブローチ集

光浦靖子/著 文藝春秋 (594/ミ)

前作「男子がもらって困るブローチ集」、「子供がもらって、そうでもないブローチ集」で、羊毛フェルトの自作ブローチを発表したお笑い芸人の光浦さん。「こわい」「重い」と言われながらも、それでも作らずにはいられない姿にアーティストの「性」を感じます。芸能人や政治家の顔をデフォルメした作品、飛び出す「半立体」動物シリーズなど、今回もクオリティはピカイチながらも、クセ強めな光浦ワールドが広がります。



世界にたったひとつの生き物ストーンアート 僕たちは石から生まれた

Akie/著 小学館 (723.1/7)

子どものころ、道端に落ちている石ころを拾っては、「○○に見えるよね」なんて友だちとおしゃべりしながら遊んだ思い出はありませんか?

この本の著者・Akieさんは、割る、削るなどの加工はせず、ありのままの石の形の中に隠れる生き物たちの姿を見つけて、その姿を私たちに教えてくれる石のアーティストさんです。

石なのに、柔らかな毛並みや温かい体温まで感じられるような動物たち。まるで、子どものころの思い出を手のひらで包んでいるようです。

えん93のアイスボックスクッキー

えん93/著 誠文堂新光社 (596.65/エ)

基本のアイスボックスクッキーの作り方から、かわいいクマやウサギなどの作り方までが記されているレシピブックです。

基本をマスターしたら、あなたのオリジナルデザインのアイスボックスクッキーも、作ることができるかもしれません。

かわいく作れて、美味しく食べることもできる、芸術と食欲が一度に叶えられる一石二鳥な秋を、この本と一緒に過ごしてください。

万年筆のインク見本帖

佐久間和子/著 玄光社 (589.73/サ)

とある書店の文具コンシェルジュである佐久間さんが、9年間毎日(!) SNSに投稿し続けたバースデーカードイラストが1冊の本になりました。

毎日誕生日を迎える誰かのために「お誕生日おめでとうございます」の一言を伝えてくれるかわいい生き物たちは、1本のペンと1色のインクで描かれています。生き生きと描かれる「いろいろ」な表情の、生き物たち。1枚1枚に描き手の「好き」が詰まっています。こんな風に描けたらいいのに…。

でも、上手くなくても、時間がかかっても、「続ける」ことなら真似できそうです。

偶然の装丁家 【シリーズ：就職しないで生きるには21】

矢萩多聞/著 晶文社 (022.57/ヤ)

本の表紙に惹かれてなんとなく手に取ってしまうことってありませんか? この本の著者は、そんな『本の顔』をデザインするブックデザイナー(装丁家)です。中学で不登校、14歳でインドにわたり、好きな絵を描き続け、気づいたら画家兼装丁家になっていた一。これまで手がけた装丁は600冊以上。そんな著者の画家としての作品や装丁作品とともに、半生や本づくりの話などが語られます。

-紹介作品(50音順)-

- えん93のアイスボックスクッキー
- きりえや偽本図書館
- 偶然の装丁家
- 世界にたったひとつの生き物ストーンアート
- 中学生からの絵本のトリセツ
- 中山みどりのフェルトアートmidofelt
- 万年筆のインク見本帖
- MOZUトリックラクガキアート集
- 夜景座生まれ
- 藪の中
- 私が作って私がときめく自家発電ブローチ集

↓予約はこちらから



2024
秋